

知床五湖の利用のあり方協議会(第10回)

1. 日時:平成 22 年 6 月 8 日(火) 17:30～20:40

2. 場所:知床世界遺産センター レクチャールーム

3. 出席者:

しれとこフォーラム21:小川
ガイド協議会:関口、鈴木
ウトロ自治会:梅沢
ユートピア知床:千葉
斜里バス:菅原
知床民宿協会:桂田、小野寺
知床温泉旅館協同組合:佐々木、鈴木
エコツーリズム協議会:上野
知床斜里町観光協会:喜来
自然公園財団:杉野
環境省:則久、野川、中村、二戸
斜里町:岡田
北海道:樋口、大宮、石川
知床財団:寺山、岡本

4. 配布資料:

資料 1	知床五湖利用適正化計画(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果概要
資料 2	知床五湖キャッチフレーズ(案)
資料 3	知床五湖フィールドハウス平面比較表
資料 4	知床五湖利用調整地区立入認定手数料の試算について
資料 5-1	知床五湖利用コントロール導入実験について
資料 5-2	知床五湖利用のあり方に関するアンケート
参考資料 1	知床五湖利用適正計画(案)パブコメ(100511 意見)
参考資料 2	知床五湖利用適正計画(案)パブコメ(100526 意見)
参考資料 3	知床五湖利用適正化計画(修正案)
参考資料 4	導入実験チラシ案および予約状況

5. 議事概要:

【開会挨拶】 環境省釧路自然環境事務所 則久次長

【知床五湖利用調整地区利用適正化計画(案)のパブリックコメントの対応について】

環境省: 資料 1、2 の説明

環境省: お二方からご意見をいただいた。書き込みに対する対応はこれでよいか？協議会の合意形成をえて最終的なクレジットは環境省ということになる。モニタリングデータについても以前の指摘に対応して変更した。文章を洗練するために手直しがあるかもしれないが、実質的な中身について基本的に合意していただけるか？

しれとこフォーラム 21: この場で計画案は合意されたということになるのか？

環境省: パブリックコメントの対応含め全体の内容の合意である。

ガイド協議会: 全ての計画について見直しの可能性は？

環境省: 可能性はある。

しれとこフォーラム 21: 計画案の 344 行について。立ち入り認定有効期間は 1 日で、レクチャーを受講するのに 1 度お金払い、2 回目以降もまた同じ内容のレクチャーを受けお金を払わなければならないのはおかしいと前回は申し上げた。金額によっても話が違ってくると思うが。

環境省: 立ち入り 1 回につきその都度認定を受けるという形になる。ご意見はごもっとも、何か工夫をすることは考えていきたい。

しれとこフォーラム 21: お客さんが払う料金は手続き料であると前回説明を受けた。入園料とか利用料ならわかるが、手続き料として 2 回目も同じレクチャーを受け、従ってお金も払わなければならないというのはお客さんが納得しないと思う。何年かして状況が変わったので再度レクチャーを受けてほしいというのならばわかるが、昨日行って今日また入るのに同じレクチャーを受け、お金を払うというのは納得していただけないと思う。金額がある程度わからないと何とも言えないが。

環境省: 手数料とはレクチャーなどをする体制を維持していくためのもの。

しれとこフォーラム 21: 大雪の高原沼の場合、ヒグマ情報センターで 10 分くらいのレクチャーを受け手続きして入るのは無料である。

環境省: 利用調整地区制度の根幹にかかわる問題。利用調整地区制度を利用するかぎり手数料はいただくことになる。この後で手数料の内容について議論するが、立ち入りに関する全てを手数料でまかなおうとは思っていない。こういったサービスを提供するというイメージから見ても利用者にも多少負担していただくという形を考えている。

しれとこフォーラム 21: 皆さんが合意されるならしょうがないが、料金が何に使われるのか？施設や人件費に使われるというのであれば私は納得できないし、たぶんお客さんも納得できないと思う。

環境省: 料金が何に使われるのかについては資料 4 で説明させていただいているが、手数

料がかかりますよということを前提に利用調整地区の導入について今まで議論を進めさせていただいていることをご理解いただきたい。金額をどうするか、料金の中身についてご相談させていただきたいと思っている。

斜里町：利用者側が納得するのか？という視点がある。料金がどうして必要なのか、どういふことに使われるのか、きちんと理解してもらえるように説明していく工夫も合わせて必要ということだと思うが。

しれとこフォーラム 21：主にヒグマに関することだと思うが、事故が起きないようにするための注意、レクチャーを今日受けたのにまた次の日もお金を払って受けなくてはいけないという意味がわからない。

斜里町：単に「知識を得る」、「知識を対価として払う」だけではなく、それ以外にも事務手数料手続きがかかる。その費用もレクチャー対価として出していくという制度になっている。知識や技術を伝えていくこと以上の裏付けがある。そこをきちんと説明して理解していただくしかないということだと思う。

ユートピア知床：以前、五湖が有料駐車場になった際、クマが出没して遊歩道が歩けない状況なのにお金を取るのか？という問い合わせがたくさんあった。内部指示があったわけではないが、公園管理維持のためにと説明してきた。前もって、何のためのお金か、2回目に入る人もお金がかかるのはなぜか、といったことをきちんと説明していく必要がある。

環境省：何のためのお金かということは説明していかなければいけないと思っている。

知床温泉旅館協同組合：資料には事務手数料、認定手数料という記述があるが、それらはどう違うのか？

環境省：言葉として同じこと。認定手数料という記述が正しい。

エコツーリズム協議会：本計画に関する見直しに関して、計画をやめることも含めた見直しもありえるのか？つまり、利用調整地区制度そのものをやめるということもありえるのか？

環境省：ありえる。

【キャッチフレーズについて】

環境省：資料 2 についての説明。

知床財団：このキャッチフレーズは今後のチラシ、ポスターに共通で使用する予定。また、来年度以降の本格稼働時にも使用予定である。

*4つの候補から多数決で「野生を育む、知床五湖。共生へ、新しい二つの歩き方。」に決定。

【施設整備について】

環境省：資料 3 についての説明。

ガイド協議会：A 案では女性トイレの数が減ると、外に並ぶことを考えると B 案のほう

がよいのでは？

エコツーリズム協議会：男性と女性がトイレで並列して行列ができることについて、女性はどう思うか？

ルーム内女性：私はあまり気にしないタイプ。中を見られるのは抵抗があるだろう。

ガイド協議会：A案については立てられないのか？

環境省：広場の敷地内に立てることになるが、可能ではある。

環境省：B案で進めさせていただきたいと思うがどうか？

一同：B案で特に問題なし。

環境省：五湖フィールドハウスの図面について説明。

ガイド協議会：レクチャールームの換気についてはどうなるのか？

環境省：換気は検討中だが、積極的に換気できるように考えている。

ガイド協議会：五湖側に窓はないの？

環境省：今のところない。窓があった方がいいというのであれば検討する。

ガイド協議会：窓があったほうが良い。

知床斜里町観光協会：上部は排気口か何か？

環境省：上は明り取りと換気用に考えている。

知床斜里町観光協会：風が非常に強い。換気を考えるならば風に十分な配慮が必要。

環境省：構造的には大丈夫。

知床斜里町観光協会：排気口をつけるなら下側に。そうでないと閉まらなくなることもある。

しれとこフォーラム 21：将来をかんがえて、冬季利用もできるような使用にしてほしい。

環境省：検討する。

斜里町：水の供給ができない。そこをクリアしなければいけない。

エコツーリズム協議会：冬の利用は大事。冬に行った人たちがトイレだけでも使えるようにならないか？水の利用も含めて携帯トイレブースなど、冬の利用も考えて検討してほしい。

環境省：根本的な問題になるが、検討させていただく。

ユートピア知床：公衆電話はつけるのか？

環境省：つける予定はない。

しれとこフォーラム 21：公衆電話はあったほうがいいのか？

環境省：現状、電話自体の線は来ているが、調子が悪くつながりが安定しないらしい。事務室には連絡手段用に何らかの形で電話を入れる予定だが、NTTの線を使うのか、携帯等を使うのかは検討中である。有線が安定して使えるなら公衆電話も検討する。

しれとこフォーラム 21：携帯電話を五湖で使えるように行政が働きかけて使えるようにするのは可能なのか？ヒグマの安全対策にも有用では？是非検討してもらいたい。

環境省：五湖の利用のあり方に対してどういう方針を持つかということに関わってくると

思うが、知床五湖については従来と違う利用体験、自然体験を提供する場であり、それに照らし合わせてみてどうなのか？クマが出た時の対応については無線が施設の中にある。

しれとこフォーラム 21：植生保護期にクマが出た場合、連絡方法がない。お客さんに対しレクチャーでああしてほしい、こうしてほしいと言っているが、安全対策としてこちらが何をしているのかといたら何もしていない。お客さんの安全を考えるのであれば、連絡手段を主宰者側が考えていただかないと本当のヒグマ対策ということにはならない。

環境省：携帯を持っているから安全というわけではない。知識を持って入っていただくことが安全性につながるという考え方。五湖園地施設内で、例えば駐車場などでは携帯の通じる所もある。

ガイド協議会：一般の方もできれば使えるようにしたらいいとは思いますが、クマに関する知識のないお客さんが遊歩道内でクマに会うと、写真を撮ったり、今クマがいるよと写メールをしたり、かえって混乱することが懸念される。ガイドしているときに携帯を鳴らしながら歩かれたりするのは遠慮願いたいし、ヒグマに対する注意も薄れる。しかし、現場の情報が伝わるという意味では携帯電話は有効かと思われるので、これについてはこれから検討していくこととであろう。

環境省：尾瀬など各地で利用のあり方として携帯電話の使用が議論になっている。遭難時の連絡体制としてはよいが、一方で携帯電話を使うことは特別な自然体験を奪ってしまうのではないか？

しれとこフォーラム 21：携帯がいるということではなく、非常時の連絡手段があればよいということ。

知床温泉旅館協同組合：今後、我々がNTTなどに利用エリアの拡大を要請していくということはあり得ると思うが、その場合に、五湖などに通信エリアが拡大することに対して何か阻害要因はあるか？

環境省：国立公園のエリア内なので、アンテナを立てなければならなくなる。そのために大きなアンテナを幌別、岩尾別の台地上に立てるのは望ましくないと考えている。技術的には可能と思われるが、利用のあり方の問題として何が望ましいのかというところ。皆さんがどうお考えになるのか。

知床温泉旅館協同組合：連絡体制を確保できるレベルのものであればいいと思っている。

環境省：各地の意見を見てみると、携帯が利用できるようになると利用者のマナー/態度が必ずしも向上する方向には行かないということが言われている。国立公園の特別な場所にきたという特別感がなくなってしまうのではないかという心配はある。

しれとこフォーラム 21：知床といっても五湖だけが知床ではない。五湖だけが携帯電話はダメという話でもないと思う。羅臼岳を登っていても途中で入るところもある。

環境省：携帯の話は置いておいて、よろしければ手数料の考え方に移りたい。

【手数料について】

環境省：資料4についての説明。

ガイド協議会：ヒグマ活動期のスタッフ常駐数が2名というのは少ないのではないかとこの業務の他に、五湖とは全く関係ないようないろいろなことを聞きに来る人もかなり多いだろう。それに対応できないというのは不親切だと思われるので、もう一人必要。植生保護期ももう一人必要なのではないかと？

知床斜里町観光協会：手数料は基本的にどこまでまかなうつもりなのか？

環境省：7Pに載っている分（資料4）は手数料対象外と考えている。その他のところは手数料でまかなう。

知床温泉旅館協同組合：入込数が右肩下がりになっているという状況の中で、かなり多くの組合員から認定手数料は限りなく0に近い数字でお願いしてくれと言われてきた。

環境省：我々もなるべく低く抑えたいと思っている。妥当なラインをどういうふうに持っていかについて極力努力したいと思っている。

しれとこフォーラム 21：手数料収入で運営しようとしている業務の金額は全部でどれくらいなのか？

環境省：まだ見積もりは出していない。

しれとこフォーラム 21：初回からこの会議に出席しているが、最初は有料になるとか、レクチャー料を徴収するという前提では始まっていなかった。観光で仕事する立場としては、駐車料金に加えて更にお金を取るということはお客さんを減らすようなもので、お客さんに負担をかけたくないというのが正直なところ。手数料収入による運営業務と書いてあるが、これでは話が違うのでは？基本的な部分として有料ありきではなかったと思うが。手数料をできるだけ0に近い形で考えていっていただきたい。これだけかかるからこれだけ負担してもらおうという考え方はおかしい。

環境省：確かに最初はどんな枠組みでやるかは決まっていなかった。しかし地上遊歩道と高架木道の運用に関して利用調整地区制度の導入でいまいしょうと決定した時点で手数料が発生するということは了解していただいているはず。金額については、コストを削減できるところはするなどしてできるだけ下げられるように努力しようということ。

知床斜里町観光協会：手数料が高くなれば高くなるほどお客さんは離れていく。手数料については努力していただいでできるだけ0に近い形でやっていただきたい。

環境省：手数料の金額を下げたいという考えは我々も同じ。五湖については、高架木道を整備しこれを自由に使ってもらおうという中で、遊歩道については利用調整地区制度でやっていきますということで話を進めてきているので、0にできるかと言われれば0にはならない。

しれとこフォーラム 21：大雪はヒグマ情報センターを環境省で建ててもらって、レクチャーを

受けて、手続きをして、中に 4 人番兵がいるのにタダである。利用調整地区であるということであるにしても、お客さんから見た場合に基本的にはできるだけ 0 に近い金額にしてほしい。

環境省：制度的には認定事務にかかる最低のものは手数料でまかなうことになっているので、その点は理解していただきながら、これぐらいのシフトを組むとこれぐらいになると言うような形で何種類か、今後提案する。人件費をすべて認定料でまかなおうとは思っていない。今後、より具体的に試算提案をする。

知床民宿協会：基本になる入込数というものが不確定なのだから、そこから試算したものはあてにならないと思う。1 年 2 年は試行的にやって、その上でこのぐらいの料金が適当であろうという形でいくなればいいが、有料からスタートするというのはどうか？ 環境省と斜里町は相談し合って、やはり来てもらう方向で検討してもらうのが一番ではないか。

環境省：この制度を導入する限り料金はかかる。需要を正確に見極めながら金額をはじきだしていく。

知床民宿協会：資料 4 の 5 ページに「植生保護期に 10 分おきに 1 時間 6 回のレクチャー実施できる体制が必要」と書いてあるが、こんなことははたして可能なのか？

環境省：レクチャールームが 2 つあって、実際には 20 分ごとに回っていく形になるので大丈夫である。

知床民宿協会：昨今の不安な情勢の中で、とても信用できるような数字ではないと思うので、最初は試行という形でスタートすることを検討していただきたい。

環境省：今の段階ではわからないなりに計算をしてスタートするしかない。

知床温泉旅館協同組合：試算額と観光サイドの人たちが妥当と考える額に相当の乖離があった場合にはどうするのか？

環境省：利用する時間を短くして、今検討されている 2 交代制を 1 人にすることでコストを削減することもできる。

しれとこフォーラム 21：お金を安くするのならば人数を減らせばいいとか、利用時間を減らすというのはお客さんに来ると言っているのと同じ。そういうことを言われるのであれば、一緒に協議する意味がない。地元の経済をどうするのか、私たちの暮らしをどうしてくれるのか、それを抜きに協議をしても意味がない。最初から高くして、知床に行ったらお金をたくさん取られると思われるより、安くしていいなと思ってもらってお客さんが増えた方がお互いにいいはず。300 円、500 円取ってお客さんが減ることを心配するのであれば、全額環境省に負担してもらうとか、あるいは 50 円ぐらいにするとか、様子を見てやるとか、そのように考えてもらわないと、潰れてしまったら終わり。それでなくても今、お客さんに来てもらうのに必死である。

知床財団：先程決定したキャッチフレーズのように、2 つのあり方を提案していきましようというのが始まりだった。高架木道という選択肢がある。そしてもう一つの選択肢、

使い方がある。その2つを合わせての話だと思う。2つの選択肢が利用者のほうにあって、そのことについて地域をあげてどのように伝えていくのかというような話が根本だったはず。その上で、地上遊歩道もできるだけ使いやすくした方がよく、それは擦り合わせをしていくところなのではないかと思う。

知床温泉旅館協同組合：今の知床は遺産登録後非常にコストがかかるし規制が多い。カムイワッカはバスに払うお金に対して全く価値がない。それはお客さんが判断していること。コストのかからない高架木道という選択肢ある。その一方で遊歩道を歩くガイドツアーがそれが本当にお金を払う価値のあるものなのか。安いことはいいことだが、ただ安くするだけではなく、その価値を含めた議論をしないとイケない。

環境省：利用者の方々に納得していただけるかどうかというのが一番大事だと思う。支払ったお金が何のために使われるのかをきちんと説明し、その上で実際に満足していただけるのかが大切。我々としては、高架木道と地上歩道の2つの新しい利用のあり方を提案して、地上歩道についてはこういったやり方で進めることによって今より静寂な雰囲気の中で自然を体験していただける、それはお客様にもわかっていただけたと思う。それが規制というイメージを持たれるとマイナスになるので、その点は注意して広報等しっかりやっていきたい。人件費をすべて認定料でまかなおうとは考えていない。だから0にするということとは言えない。地元のご要望が限りなく0ということだが、0にはできない。しかし下げる努力はしていきたい。近い今後より具体的に考えていきたいと思う。

ガイド協議会：ここに営業を入れたらどうか？利用者数が増えればそれだけ料金が下がる。そちらの方をしっかりと考えてもらった方が現実的ではないのか？そういった視点も是非検討していただきたい。

知床温泉旅館協同組合：ガイドさんに料金設定はどれくらいが妥当か聞いたらいいのでは？

環境省：手数料に関していい足りないことがあれば後ほど個々にご意見をいただいて事務局の方で検討する。営業努力についてもどんな方法がいいのか考えてみたい。

【知床五湖利用コントロール導入実験について】

知床財団：知床五湖利用コントロール導入実験についての説明。

*特に質問等なし。

【その他】

環境省：マイカー規制について説明。

【その他質問】

しれとこフォーラム 21：五湖園地に朝夕に行きたい人もいる。高架木道ができて利用できる状態なのに入れたい。朝夕に入りたいという声も聞く。利用時間を延ばすことはできな

いか？

環境省：高架木道の利用ということか？

しれとこフォーラム 21：そうだ。鍵を早く開けてもらえばよい。

斜里町：もともと何も規制がなかったのだが、クマの出没が始まったころに安全のため、夜のオートキャンプを避けるため今のような形にした。時間帯に関して見直しは可能だと思うが、鍵の開け閉めは人がやるものなので、人員配置等考えると朝早く開けるのは厳しいかと思う。

しれとこフォーラム 21：時期と日没時間に合わせて考えていただけないか？7時半というのは遅すぎる。

斜里町：日照に合わせて開園時間を変化させるという議論はあった。閉園時間を季節によって変更すると、利用時間の周知が難しくなり情報が煩雑になる。

しれとこフォーラム 21：その点は大丈夫。

環境省：五湖のレストハウス付近でボーリング(2箇所)予定。3～4mの櫓を立てる。

知床財団：16日に五湖実験用スーパーハウスを建てる。

知床温泉旅館協同組合：実験全体の枠組みを考えてほしい。駐車場、渋滞、施設整備などトータルの考えてほしい。

【開会挨拶】 環境省釧路自然環境事務所 則久次長